



各行政区で
取り組みが始まる

今ここからの“地域みがき”を考える

地域の個性を生かして

各行政区の個性を生かして、地域をみがきあげるアイデアを、計画に盛り込んでください。若い人や移住されてきた方との交流を進める行事などにもぜひ取り組んでみてください。

計画の策定と実りある事業展開に向けて、行政区、そして村民の皆さまのご協力を、よろしくお願いします。

各行政区で「地域みがきあげ計画」の検討や策定が進められています。

「コミ担」も「ふるさとの担い手」として

この新しい計画の策定には、役場のコミュニティー担当職員が参画します。

今年度から103人の役場職員(任期付職員も含む)が、コミュニティー担当職員となりました。通称「コミ担」が、「地域みがきあげ計画」の策定から担当行政区に関わり、「ふるさとの担い手」として、それぞれの行政区について学びながら、地区の行事や事業などにも参加していきます。

次のページで各行政区のコミュニティー担当職員(コミ担)を紹介します!



大倉行政区の説明会



八木沢・芦原行政区の説明会



佐須行政区の説明会

計画づくりと実現に活用できる 補助金制度を創設します

みがきあげよう!ふるさと補助金

「みがきあげよう!ふるさと補助金」は、「地域みがきあげ計画」の策定や、その計画に沿った取り組みの支援を目的とする補助金です。補助申請は行政区単位で行います。



計画推進協議会の委員長に選任されました 実のある計画にしていこう

「地域みがきあげ計画推進協議会」の初回の会議で、委員長に選任された熊谷さん。「20行政区、それぞれの『地域みがきあげ計画』が、実のあるものとなるよう、情報を共有し、協力していきましょう」と、委員となった各行政区長に呼びかけました。



委員長 熊谷 清 さん(飯樋町)

7月7日、交流センター「ふれ愛館」で、第1回「地域みがきあげ計画推進協議会」が開かれました。委員長には熊谷清さん(飯樋町)、副委員長には佐藤勝見さん(前田)を選出。計画づくりに関する自由闊達な意見交換も行われました。協議の結果は、「みがきあげよう!ふるさと補助金」や、役場職員(コミュニティー担当職員)の今後の取り組みにも反映されます。



20行政区の連携も大切にします
地域みがきあげ計画推進協議会
提出された各行政区の計画案を元に、互いの取り組みについて情報を共有。行政区間の連携を図っていきます。